

ITで実現する地域金融機関の 内部統制効率化セミナー

受講無料

受講者の中から抽選で
iPodが合計4名様に当たる

※「営業推進高度化セミナー」のご案内は裏面をご覧ください。

【開催主旨】

金融界では08年4月から適用開始となる内部統制への対応として銀行を中心に業務プロセスの文書化等を進めています。法律上は対応の必要がない未上場・協同組織金融機関でもその重要性は変わりません。今後は、文書化に続き通年で内部統制のサイクルをまわし続ける必要があります。ITを利用した作業の効率化は不可欠と言えます。

FITフォーラムでは、地域銀行55行に「内部統制文書化テンプレート」を提供している、みずほ情報総研から講師を招きIT統制に関する講演をいただきます。さらに、ITを活用した全般的な運用支援や運用テストの具体的作業の効率化、情報資産の可視化、厳格なログ管理等をご紹介します。

主催：日本金融通信社（ニッキン） 共催：金融ジャーナル社、CMC
協賛：日立ソフト、コクヨS&T、NEC（順不同）

会場：大阪銀行協会（大阪市中央区谷町3-3-5）
時間：10:00～（9:30受付開始）
定員：70人（受付順・事前登録制）
受講資格：金融機関にお勤めの方限定
※メーカー、ベンダー、その他の方は受講できません
申込方法：ご希望のセミナーと必要事項をご記入の上、FAXまたは同封のはがきでお申込み下さい。
ニッキンウェブサイト (<http://www.nikken.co.jp/>)
からもお申込みいただけます。
※登録受付後、受講票をFAXでお送りいたします。

09:55 開会のご挨拶

金融機関におけるIT統制のポイント（米国SOX法の対応経験から）

基調講演

日本版SOX法では、内部統制の基本的要素に「ITへの対応」が明記されていることから、ITの役割に焦点が当たっています。ITについてはIT全般統制における評価のみならず、会社全般統制や業務処理統制においても有効性を評価する必要があります。そのために、どのレベルでどのようなことが問題になり、どのような対応をするのかが分かりにくい部分もあります。

みずほにおける米国SOX法の対応経験や、日本の実施基準の考え方、各種ガイド等を踏まえて、IT統制における整理ポイントを紹介いたします。

みずほ情報総研(株) コンサルティング部 次長 尾形 俊彦 氏

10:00-11:00

ウォークスルー・運用テストの具体的作業について

ウォークスルーや運用テストの作業工程表を具体的に示し、誰が、いつ、どのような作業をし、どのような成果物を作成するのか、テンプレートを使って説明します。

- ウォークスルーの具体的作業の説明
- 運用テストの具体的作業の説明
- 不備是正の具体的作業の説明
- 懸念事項
- ITツールの必要性
- ITツールの分類・特長の説明

日立ソフトウェアエンジニアリング(株)

(株) ビジネスブレイン 太田昭和 アカウンティングコンサルティング部 主任コンサルタント 木津 陽二郎 氏

11:10-12:10

1

12:10-13:00 昼食

全文書・全帳票の可視化を実現する情報資産管理台帳システムと文書管理体制の再構築

日本版SOX法対応と並行して金融機関が進めているのが全文書の標準化・可視化と台帳のシステム化です。セミナーでは営業店の文書管理改善の事例とともに台帳システム化への取り組み、および標準化プロセスにおける現場での想定外の問題点と取り組み状況をご紹介します。

また、文書管理体制の維持継続と台帳運用支援機能を持つ集中管理のしくみとして、今期リリースを予定している弊社の新しいシステムの概要も併せてご案内します。

コクヨS&T(株) ドキュメントソリューション事業部 金融プロジェクトチームリーダー 若林 淳一 氏

13:00-14:00

2

NECが提案する金融機関向け内部統制強化ソリューションのご紹介

「金融商品取引法」による内部統制報告制度の適用開始を2008年4月に控え、各企業の取り組みがいよいよ本格化してきており、多くの企業がプロセスの文書化やその準備作業に追われています。さらに導入後も繰り返される運用評価フェーズにより、対応負荷が高まることも想定されます。このセミナーではNECの持つ内部統制の構築から運用評価に至るまでの効率化を目的としたソリューションをご紹介します。

日本電気(株) システムソフトウェア事業本部 ソフトウェア販売促進統括部 マーケティングマネージャー 野田 雄三 氏

14:10-15:10

3

